

昨年の10月には、令和元年東日本台風(台風第19号)が発生したことにより、本町においても思川の水位が上昇し、氾濫のおそれがあるため、友沼区の一部、松原区の一部、丸林西区の一部、新橋区全域、野渡区全域に避難情報が発令されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、災害時の避難の際には、感染症対策を講じる必要があります。

## ■分散避難の検討(感染症対策)

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、新型コロナウイルス感染症に感染するリスクを少しでも減らすため、避難所以外への避難も検討しておきましょう。

### (避難場所の選択例)

- ・安全な親戚宅、友人宅等への避難
- ・洪水ハザードマップを確認したうえでの**垂直避難(在宅避難)**
- ・安全な場所での**車両避難(車中泊)**
- ・安全なホテル、**宿泊施設等への避難**
- ・指定避難所への避難

## ■備蓄品の準備

感染症対策として、マスク、体温計、ウェットティッシュ、石鹸、ゴミ袋、ビニール手袋、アルコール消毒液、食料、常備薬などを準備しましょう。特に、**垂直避難(在宅避難)**を行う場合には、1週間程度の食料の備蓄が必要になります。

## ■情報収集

災害時に必要な情報はテレビ、ラジオ、町の広報(ホームページ、防災メール、防災行政無線)等で確認することができます。自分にあった情報の入手方法を選んで用意しておきましょう。災害時には人づてに誤った情報が流れることがありますので、出所がわからない情報に惑わされないようにしましょう。



各指定避難所には、テレビを設置する予定です。また、気象庁が発表する気象警報・注意報は、気象庁のホームページ等で確認することができます。

**防災行政無線テレホンサービス(自動音声応答装置)**

**0180(99)2121**

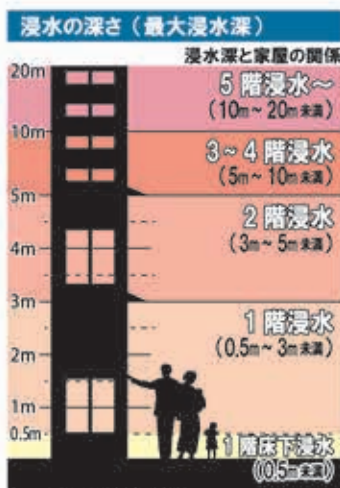
上記の番号にお電話いただくと、防災行政無線の放送内容を音声メッセージで確認できます。

# ■自宅の浸水の深さを確認しておきましょう

## 野木町洪水ハザードマップ

### 浸水危険区域図

このマップは思川、渡良瀬川、利根川、巴波川、永野川が氾濫した場合の浸水予測（洪水浸水想定区域図：想定最大規模）に基づいて浸水域と浸水の深さの最大値を示したものです。



- 凡例
- 指定避難所
  - 指定緊急避難場所
  - 福祉避難所
  - 町役場
  - 警察
  - 消防
  - その他施設
  - 国道
  - 道路
  - 区界
  - 河川区域

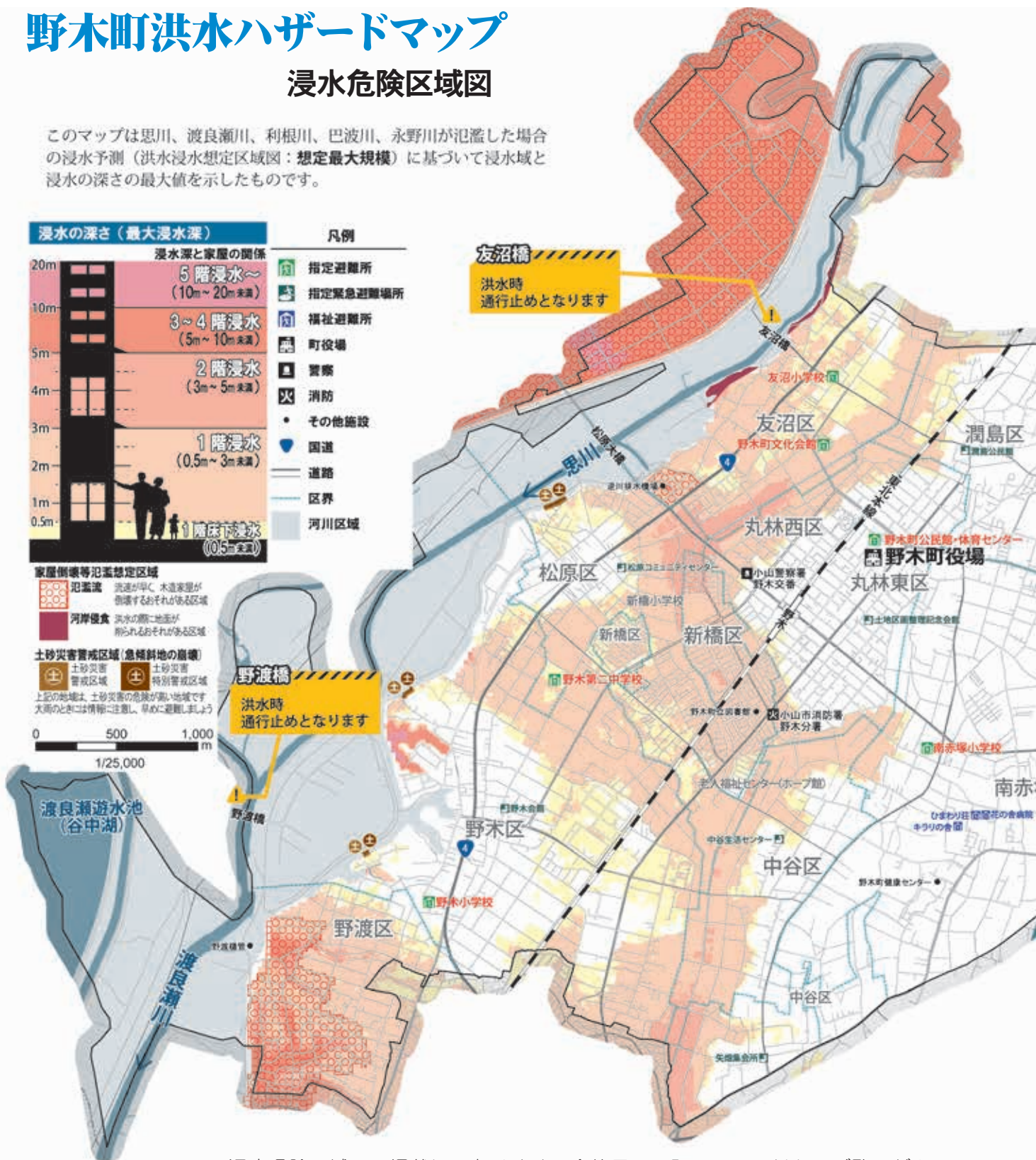
**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 氾濫流** 流速が早く、水道管などが破壊されるおそれがある区域
- 河岸侵食** 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域

**土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）**

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

上記の地域は、土砂災害の危険が高い地域です。大雨のときは情報に注意し、早めに避難しましょう。



※浸水危険区域のみ掲載しております。全体図は下記QRコードからご覧ください。

### ◇野木町洪水ハザードマップ

氾濫が発生した場合に、町民の皆様が迅速かつ安全に避難し、自ら身を守っていただくための資料となるものです。昨年(平成31年4月)に全戸配布しています。



↑こちらのQRコードからご覧いただけます。